



暖かな正月で新年の抱負を意識しないま  
 20日あまりが過ぎてしまいました。冬本番の寒さが  
 ようやく来たなと思ったら見事な白銀の世界。私たちは  
 余裕を楽しみますが不慣れな地域の気はさすがに  
 ことになりました。付け水来たのだそう。やはり付け水は  
 怖いと実感いたしました。今朝、今朝と-14°まで  
 寒い事。この雪で数組のランチのお客様おま  
 せらになてしまい少々悲しいとさうです。美しく  
 晴れた青い空と赤石岳の沢山の雪。私たち  
 には眺めているのは、ちよとちよたいなような  
 大鹿村です。

それにしては生まれて初めての体験です  
 お正月に帰るお花の庭先の梅の一枝であり庭の  
 椿でありというの。ろう梅は毎年の事でした。一  
 そしてミソササエやウグイスの籠鳴き。3月頃聞く  
 小鳥のチッチャの可愛らしい鳴き声に前を越する  
 春を感じたのでした。愛犬おねと思いつつ...それだけ

## 琵琶湖周遊の旅

今回は25日26日に予定したのですが大雪の為延期  
 になりました。隊長の飯島清次さん(河原里)にはH25年6月の  
 中央構造線(諏訪土産)と歩き始めておついで昨年の  
 12月5日(土)曇り一時晴の好日に65回目とて無事  
 1573.5kmの道のりを踏破したのです。2年6ヶ月の  
 長旅でした。68才(67才の正確な歳)にしてよく頑張りました  
 私たち応援団は踏破記念に埼玉県の寄居にある「京亭」  
 に集いお祝いして清次さんを賀えました。昭子夫人も夫を支  
 えお偉らかつた。共に歩んだ道です。おめでとうございました  
 この後何を目指すのかは今も私たちの注目のお  
 ところ。琵琶湖の終りからでしょうか。楽しみです。

お正月のお客持の済んで冬枯れの景色をみ  
 ながらのんびり遊んでいる私たち家族のひろくニュース  
 と。ほと -その1- は1月10日曜日の土曜  
 -その1- 私たち夫婦の寄居に土産する前日。土  
 曜日は泊られたお客様をお見送りして夫(正介)と次男(亮)は  
 とんと焼きの作業に下の河原へ。允は<sup>猪舎</sup>右馬允建物の  
 下の空地の枯草を清掃するの。燃やしはじめた  
 折からの強風にたちまち火に燃え広がりました  
 119番通報と17消化いたしました。作業中のみんなが  
 消火に駆け付け下り鎮火。その後けたしいサイレンとともに  
 消防車、消防隊、村長さん、大勢の人が庭いっぱいにお  
 さんとも申し訳ないことでした。 -その2- は次回の楽しみ。